

2020年7月29日

シスコとVMwareの製品を活用したSD-WANソリューション 「Managed SDx」の提供開始

NTTコミュニケーションズ株式会社（以下 NTT Com）は、シスコシステムズ合同会社（以下シスコ）、VMware, Inc（以下 VMware）の製品を活用し、個社のニーズに応じて最適にカスタマイズ可能な Software-Defined WAN^{※1}（以下 SD-WAN）ソリューション「Managed SDx」（以下 本ソリューション）を2020年7月29日より提供開始します。

1. 背景

NTT Com では2017年3月より、専用線^{※2}・IP-VPN^{※3}・インターネット・モバイルなど複数の回線上で、ソフトウェア制御によりオーバーレイネットワークを柔軟に構築・管理できる SD-WAN サービス「Software-Defined Network Service（以下 SD-NS）」を提供してきました。一方で、SaaS利用の拡大により、拠点から直接インターネットを介しアプリケーションを利用するなど、お客さまのニーズが多様化しています。

NTT Com は、これまでの「SD-NS」に加え、今回「Managed SDx」の3つのメニューを新たに提供することで、幅広いお客さまの要望に応じていきます。

2. 「Managed SDx」の概要

本ソリューションでは、Software-Defined 分野をリードするシスコ、VMware の製品を採用し、3つのメニューを提供します。インターネット向け通信を分離し SaaS の利用を快適にする口ーカルブレイクアウトなど基本機能に加え、コントローラーによる集中管理が可能です。合わせて SD-WAN の設計・構築、コンサルティングを一元的に提供することが可能です。

各メニューの概要は以下の通りです。

(1) 「Type-C」の概要

シスコのネットワーク製品「Cisco SD-WAN」を活用し、複雑な WAN 制御やより高度なセキュリティ対策が可能となる SD-WAN を提供するメニューです。種類やポリシーが異なるネットワークを制御する機能や、SaaS 利用に必要となるアプリケーションファイアウォール^{※4}や URL フィルタリングなど高度なセキュリティ対策を合わせて実現することが可能です。複雑なネットワークを有する企業に最適です。【別紙 1】

(2) 「Type-M」の概要

シスコのクラウド管理型ネットワーク製品「Cisco Meraki」を活用し、基本機能に特化し、シンプルな運用を実現する SD-WAN を提供するメニューです。「Cisco Meraki」製の無線 LAN を導入していれば、集中管理ができるため、仮に不具合が生じた場合などは早期の原因特定を可能とします。費用対効果に優れており、シンプルなネットワークをより多くの拠点に展開する企業に最適です。【別紙 2】

(3) 「Type-V」の概要

VMware のネットワーク製品「VMware SD-WAN by VeloCloud」を活用し、より安定した通信が可能となる SD-WAN を提供するメニューです。WAN の制御に加え、拠点間の通信で生じるエラーを補正することや、複数の回線を束ねて疑似的に広帯域のネットワークを生成することなどができるため、通信中に生じる乱れや途切れを抑えることが可能です。SaaS への接続品質を向上させ生産性向上を目的とする企業や、通信品質の安定しない海外拠点への SD-WAN 導入に最適です。【別紙 3】

3. 提供開始日

2020 年 7 月 29 日（水）

4. お申し込み方法および提供料金

NTT Com 営業担当までお問い合わせください。

5. 今後の展開

NTT Com は、今後も SD-WAN 導入における多様なマーケットニーズに応えていくために「Managed SDx」のメニュー拡充を検討していきます。それにより最適なネットワークを提供することで業務効率の向上に寄与することや、データ利活用における SDPF のデータ収集機能を一層強化していきます。

6. 「Managed SDx」パートナー事業者からのコメント

■シスコシステムズ合同会社 代表執行役員社長 デイヴ・ウェストさま

NTT コミュニケーションズの「Managed SDx」の提供開始を心より歓迎いたします。今後、新型コロナウイルス感染拡大の中で求められる、新たな事業形態や働き方の多様化を見据え、ICT リソースを柔軟かつシンプルに利用可能とする本ソリューションは、多くの企業が直面している複雑化する管理・運用負担の課題を解決し、企業の DX の進展に大きく寄与するものと確信しております。シスコは、最先端のテクノロジーをもとに、NTT コミュニケーションズと共に、高品質かつ経済的なソリューションの拡充を図り、企業や社会を支援いたします。

■VMware, Inc SD-WAN 部門 上級副社長兼ゼネラルマネージャー サンジェイ・アッパルさま

VMware は NTT コミュニケーションズと連携し、お客さまがデジタルトランスフォーメーション、Work at Home といったクラウドファーストのビジネスクリティカルアプリケーションを導入する際に、最適な SDx ソリューションを提供できることを嬉しく思います。

VMware の SD-WAN は、クラウドをベースとした独自のアーキテクチャとクラウドゲートウェイを利用したネットワークにより、俊敏性、柔軟性、拡張性、およびクラウドアプリケーションへの接続の容易さを提供します。

*記載されている製品名やサービス名は各社の登録商標または商標です。

※1：Software-Defined WAN とは、ネットワークをソフトウェアで制御する「Software-Defined Network」を WAN に適用した技術です。

※2：専用線とは、通信事業者が提供する専用の通信回線です。

※3：IP-VPN とは、通信事業者の閉域網上に作られる仮想的なプライベートネットワークです。

※4：アプリケーションファイアウォールとは、アプリケーションに対する通信を監視し、必要に応じて通信を遮断する等の対応を行うことで、アプリケーションを保護するための装置です。

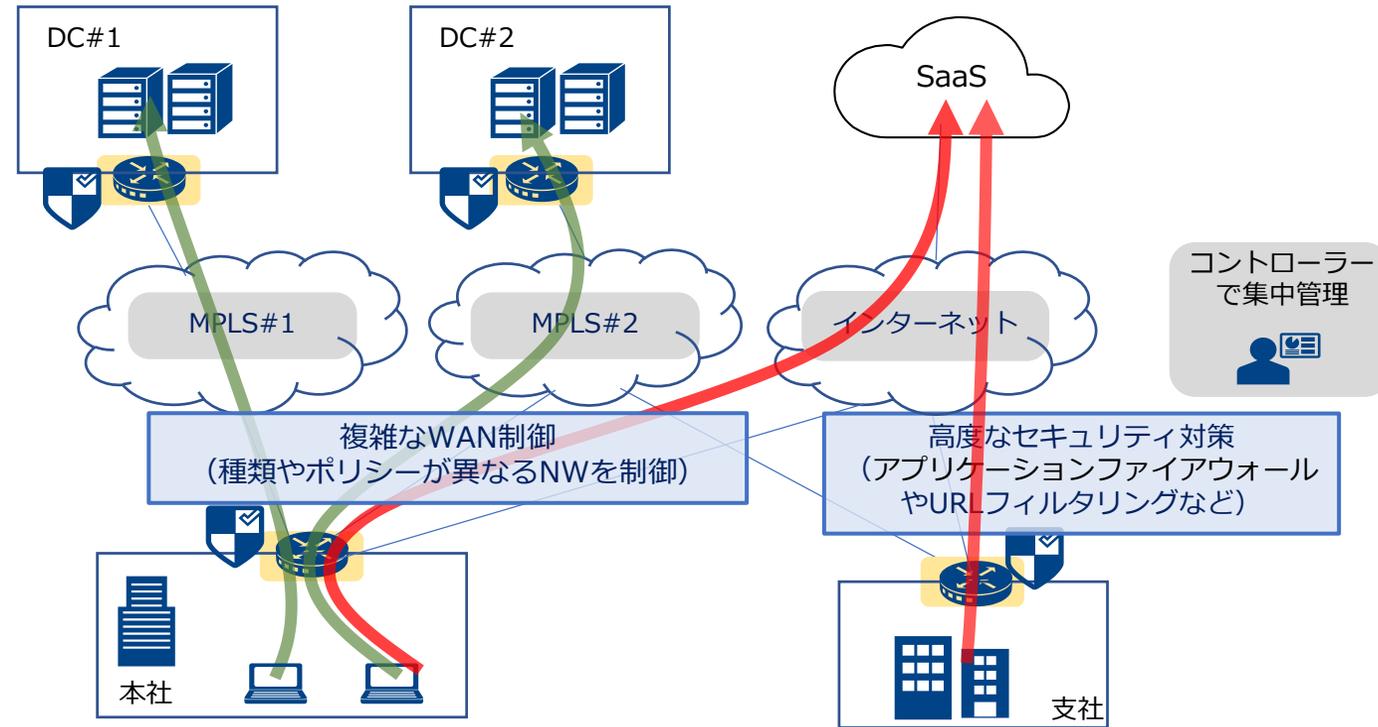
(参考)

NTT Com は、データによる企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)に必要なすべての機能をワンストップで提供する「Smart Data Platform(以下 SDPF)」を中核として、データ利活用ビジネスを推進しています。「Managed SDx」は、データ収集機能として「SDPF」を構成するソリューションの一つです。「SDPF」の詳細については、下記ウェブサイトをご参照ください。

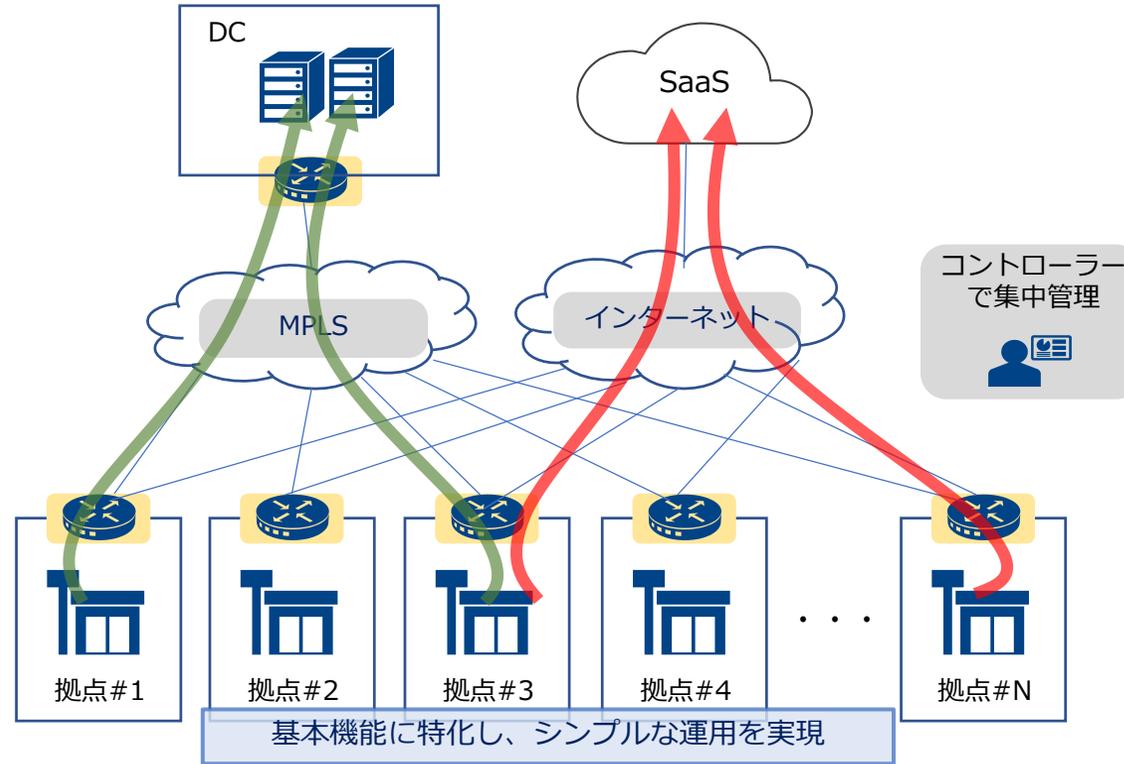


<https://www.ntt.com/business/sdpf/>

【別紙1】 「Type-C」 イメージ図



【別紙2】 「Type-M」 イメージ図



【別紙3】 「Type-V」 イメージ図

